

【対象】 小学校 高学年	【資料名】 「お客様」
【内容項目】 4－（１） 「きまり・権利」	【ねらい】 ○きまりの意義を理解してそれを守った方がいいことに気づき、 自他の権利を大切にしようとする態度を育む。

【本時の展開】

	子どもの活動・反応	授業者の支援・留意点
導入	<p>1、見たいものが見られないという体験を思い出す。 ○理科の実験を先生が前でするときなどに、何か困ったことが起きたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前の人が立つなどして邪魔で見えない ・先生の手元が遠くて見えない ・友だちが押してくる ・机の上に立って見ようとする人がいた <p>○どう対応しましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前の人には座ってもらった ・2回やってもらって、入れ替わって見た 	<p>○誰も見る権利があることに気づかせる。 ○教室内では安全面や公平性に配慮して冷静に対応できることに気づかせ、たとえば USJ などではどうかということも考えさせる。</p>
展開	<p>2、第一場面を聞き、係の人の意図をワークシートに書く。それに対する客の気持ちを考え、発言する。</p> <p>係・安全に見てほしい。 ・他のお客様も安心して見られるようにしてほしい。 客・でも見えないよなあ。 ・せっかく来たのに見えないともったいない。 ・別に大丈夫だから上に登ろう。 ・客用の高いところを用意していないのが悪い。</p> <p>3、第二場面の途中までを聞き、男の人が納得できなかったことと係の人の考えをワークシートに書く。</p> <p>男・うちの子が見られないのに、なぜ下ろすのか。 ・お金をはらっているのだから、見る権利がある。 ・お客様なんだから、優先されるべきだ。</p> <p>4、少し先まで聞き、「わたし」がびっくりしたり変だと思ったりした理由を考え、ワークシートに書く。</p> <p>○「わたし」は、何が「変だ」と思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金をはらっているのは「わたし」たちも一緒なのに、自分だけ見えないみたいに言われた。 ・「わたし」だって楽しみにしていたから見たい。 ・「わたし」にとって助かる注意をしてくれた係の人に対して、文句を言われた。係の人が悪いみたい。なぜ係の人が謝らないといけないのか。 ・係の人は、係でどうしても言わなきゃいけないから言っている。（本当の責任は、経営者にある。） 	<p>○なぜ注意をするのか考えさせる。 ○周りの人たちが不満げなことや、客としての「わたし」がこころよく思っていないこともおさえる。</p> <p>←男の人の「お客様なんですよ。」まで読む。 ○セリフをもとに、権利を主張していることに気づかせる。</p> <p>←男の人のセリフ～と、わたしが思った まで読む。</p> <p>○「わたし」は見えなくなってしまったことや、これ以前の発問から、男の人の望みと係の人の注意とが相容れないことなどに着目させ、「わたし」と関連させる。</p>
終末	<p>5、最後まで聞いた後、「わたし」が「もう一度考えたことを考え、ワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客…安全のために注意を聞くべきだった（けが人も出た）。注意には意味があるんだから、注意を守らずに言いたいことだけ言うのはおかしい。 ・係の人…背の低い客を前に誘導してあげるべき。（・経営者…子ども用の場所などを作る） 	<p>○考えるのが難しい場合、具体的な人物に焦点を当てさせる。 ○自分の経験も交えて書ける子どもは、自己反省にもなるので勧める。</p>

1. 注意をしている係の人は、どういふつもりで注意しているのでしょうか。

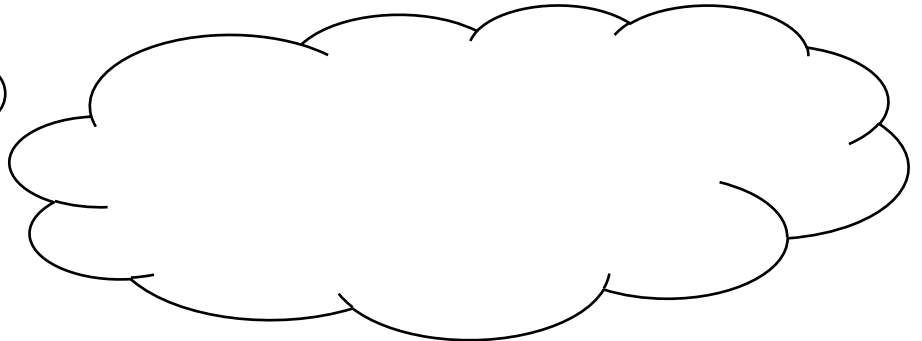
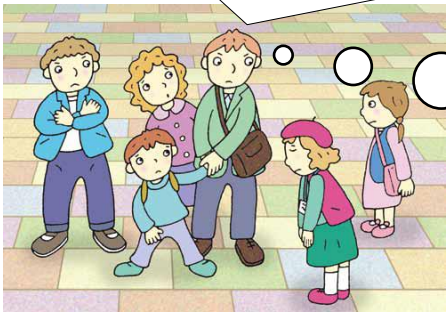
「花壇のフェンスや木に登らないでください。」

「肩車したり、ビデオカメラを持ち上げたりしないようにしてください。」



2. 肩車をしていた男の人は、何に納得できないのでしょうか。

「納得できないものを、勝手にいろいろおしつけるのはおかしいんじゃないですか。わたしたちはお金をはらって入場しているんです。お客様なんですよ。」



3. 「わたし」は、何が「変だ」と思ったのでしょうか。



Empty rounded rectangular box for the answer to question 3.

4. 会場を後にしながらもう一度考えたとき、「わたし」は何を思ったのでしょうか。

Large empty rounded rectangular box for the answer to question 4.